

小樽市観光基本計画策定委員会 第七回委員会議事録

日 時 平成 28 年 11 月 28 日（月） 14：00～15：30
場 所 小樽市役所 第 2 委員会室

次 第

(1) 開 会 李委員長より開会の挨拶があった。

(2) 今までの議論経過と主要施策に基づく主な取組

●前回議論された「今までの議論経過と主要施策に基づく主な取組」について、事務局が訂正した資料を提示し、その説明があった。

○「今までの議論経過と主要施策に基づく主な取組」（配布資料 1）

●提示された内容について、委員より意見が出された。

○民泊新法制定を視野に入れて、「滞在型に向けたプランの拡充」に民泊のことを挿入しておくほうがいいのではないか。

○観光の充実を図るためには観光ボランティアだけではなく、有償ガイドの記載も必要ではないか。

○経済効果やそれに向けた数字目標など、観光が地域にどういう効果をもたらすのか、また PDCA サイクルの視点などを施策の内容や今後 10 年の事業計画のイメージの中で、もう少し表現できないだろうか。

○通過型観光が顕著になってきている現状を打開するために、施策を的確に実施できるようにまとめてもらいたい。

○計画が形骸化しないように、PDCA の概念に基づいて適切に事業化されていくかどうか、実施レベルまでを見届けることが重要である。

○「地域 DMO」と明記して DMO の広域化を目指すという位置づけを明確にしたほうがいい。

●事務局は、出された意見を踏まえ取組み案を修正することになった。

(3) 10 年後の小樽観光についてのビジョン

●前回議論された「10 年後の小樽観光のビジョン」について、事務局が策定委員会の意見を反映のうえ訂正した資料を提示し、その説明があった。

○「10年後の小樽観光ビジョン」(配布資料2)

●提示された内容について、委員より意見が出された。

○3つの柱のひとつに「小樽の魅力を市民により伝える」とあるが、他に「深める」「広げる」とあるので「共有する」などのワードで整えてはどうか。

○「無知」「不理解」という表現は誤解を招きやすいので見直すべきだ。

●事務局は、出された意見を踏まえ取組み案を修正することになった。

(4) 策定委員会提言書について

12月に市長に手交する提言書について、事務局がその原案を提示し、説明があった。

○「小樽市歓呼委基本計画(第二次)に関する提言書」(配布資料3)

●事務局は、(2)、(3)で議論された内容を反映し提言書の改訂版を作成することになった。12月第二週に各委員に再配布し、次回の委員会で最終確認のうえ校了とする予定。

(5) 閉会

李委員長が次回の日程を確認し閉会した。

<次回委員会 12月19日(月)14:00~/小樽市役所本館2階 市長応接室>